

招待選手紹介

海外招待選手

01 チェイエチ・ダニエル
(ケニア)

DANIEL, Cheyech

- 年齢 35歳 (1982年7月5日生まれ)
- 身長 164cm
- 体重 50kg
- 自己最高記録
2:21:22(17'パリ 3位)

前回大会は2時間23分18秒の大会新記録で圧勝。その勢いに乗り、今年4月のパリマラソンで2時間21分22秒の自己新をマークすると、8月の世界選手権では4位入賞を果たした。ワールドレベルの走りで見逃しを許さず。



02 フィレス・オンゴリ
(ケニア)

ONGORI, Philes

- 年齢 31歳 (1986年7月19日生まれ)
- 身長 162cm
- 体重 47kg
- 自己最高記録
2:24:20(11'ロッテルダム 1位)

2002年に来日後、山梨学院大学附属高校やホクレンに所属し、駅伝などで活躍。マラソンでは11年のロッテルダムで優勝。近年は目立った活躍をしていないが、9月に母国のハーフマラソンで優勝して調子を上げている。



*山梨学院大学附属高校は、2016年4月から山梨学院高校に改名されています。

03 シタヤ・ハブテゲブレレ
(バーレーン)

HABTEGEBREL, Shitaye

- 年齢 27歳 (1990年5月21日生まれ)
- 身長 150cm
- 体重 38kg
- 自己最高記録
2:25:36(16'ドバイ 6位)

5000mで15分03秒13の記録を持つスピードランナー。10000mではロンドンオリンピック6位、今年の世界選手権では12位に入っている。16年にマラソンデビューし、ベストは2時間25分36秒。今大会はマラソン初勝利を狙う。



04 モニカ・ステファノウイツ
(ポーランド)

STEFANOWICZ, Monika

- 年齢 37歳 (1980年5月15日生まれ)
- 身長 160cm
- 体重 46kg
- 自己最高記録
2:28:26(16'ハンブルク 4位)

2003年に初マラソンを走った後、アテネ、北京と2大会連続でオリンピックに出場。出産のため一時競技を離れたが、復帰後の16年に2時間28分26秒の自己記録をマークし、リオオリンピックにも出場するなど経験豊富。



05 シャーロット・パデュー
(イギリス)

PURDUE, Charlotte

- 年齢 26歳 (1991年6月10日生まれ)
- 身長 152cm
- 体重 46kg
- 自己最高記録
2:29:23(17'ロンドン 15位)

ジュニア時代はクロスカントリーで活躍。シニアからロードに移行し、昨年4月のロンドンで初マラソンを経験。今年、地元で行われた世界選手権では13位と健闘。今大会では2時間29分23秒の自己記録更新を目指す。



06 シニード・ダイバー
(オーストラリア)

DIVER, Sinead

- 年齢 40歳 (1977年2月17日生まれ)
- 身長 165cm
- 体重 50kg
- 自己最高記録
2:31:37(17'名古屋 10位)

2010年に長男を出産後、健康のため走り始めた異色ランナー。14年に初マラソン、翌年には世界選手権にも出場。40歳になった今年、3月の名古屋で2時間31分37秒の自己ベストをマーク。今回は“サブ30”を狙う。



国内招待選手

21 岩出 玲亜
(ドーム)

REIA Iwade

- 年齢 22歳 (1994年12月8日生まれ)
- 身長 155cm
- 体重 39kg
- 自己最高記録
2:24:38(16'名古屋 5位)

2014年の横浜国際女子で、初マラソンながら当時10代日本最高記録(2時間27分21秒)を出して注目を集めた。自己ベストは昨年3月の名古屋ウィメンズ。今春、所属先を変えてマラソンに専念している。愛知・豊川高出身。



22 吉田 香織
(TEAM R×L)

KAORI Yoshida

- 年齢 36歳 (1981年8月4日生まれ)
- 身長 154cm
- 体重 42kg
- 自己最高記録
2:28:24(17'名古屋 7位)

地元・埼玉生まれの36歳。第1回大会から3年連続エントリーとなる。前回は日本人最高2位だったが、前回は9位。しかし、今年3月の名古屋ウィメンズで自己ベストを更新するなどその力は健在。埼玉・川越女高出身。

